



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 リード  
 コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 田口 英美  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-588-1121

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,748	26.3	261		140		123	
2020年3月期	6,444	10.3	124		147		112	12.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	47.88		4.6	1.6	5.5
2020年3月期	43.76		4.1	1.7	1.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,460	2,641	31.2	1,026.85
2020年3月期	8,838	2,741	31.0	1,065.62

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,641百万円 2020年3月期 2,741百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	191	420	83	1,342
2020年3月期	786	114	475	1,487

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期				10.00	10.00	25	22.9	0.9
2021年3月期				5.00	5.00	12		0.5
2022年3月期(予想)				5.00	5.00		28.6	

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,890		190		170		170		66.08
通期	4,630		40		55		45		17.49

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	2,632,960 株	2020年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2021年3月期	60,370 株	2020年3月期	60,305 株
期中平均株式数	2021年3月期	2,572,618 株	2020年3月期	2,572,655 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(持分法損益等) .....	15
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	16
(2) 役員の異動 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の深刻化や昨年の消費税増税等の影響による景気の後退感に加え、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動、消費活動が大きく後退し、景気は急速に悪化しました。2020年5月の緊急事態宣言の解除後は経済活動再開の動きが広がり、足元の景気は個人消費や輸出を中心に持ち直しつつあったものの、2020年秋以降、半導体不足が本格化し、2021年1月には2度目の緊急事態宣言が発出される等、本格的に景気が回復するには時間がかかる状況となっております。

当社の売上高に大きな影響を与える(株)SUBARUの世界生産台数は前年度に比較し21.4%減少、国内販売台数も前年度に比較し18.6%減少し、輸出台数も前年度に比較して20.3%の減少となりました。

このような経済環境の中で当事業年度の売上高は4,748百万円(前期比26.3%減)、営業損失は261百万円(前期は営業利益124百万円)、営業外収益は受取配当金19百万円、受取賃貸料43百万円、助成金収入111百万円等により183百万円、営業外費用は支払利息51百万円、賃貸費用11百万円等により63百万円を計上し、経常損失は140百万円(前期は経常利益147百万円)となりました。特別利益は固定資産売却益1百万円を計上し、特別損失は固定資産除却損2百万円等により3百万円を計上しました。また、法人税等還付税額19百万円を計上した結果、当期純損失は123百万円(前期は当期純利益112百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

#### ①自動車用部品

当セグメントの売上高は、上期の新型コロナウイルス感染症の影響や、第4四半期の半導体供給不足による受注減少により、通期の売上高は4,415百万円(前期比26.3%減)となりました。損益面につきましては、下期は黒字計上したものの、通期におけるセグメント損失(経常損失)は169百万円(前期はセグメント利益(経常利益)117百万円)となりました。

#### ②自社製品(2020年3月末撤退した照明機器製品を除く)

当セグメント(電子機器製品)におきましては、警察向けシステムラック等の受注増等により売上高は296百万円(前期比4.9%増)となりました。損益面におきましても、価格改定効果及び人員削減に伴う固定費圧縮によりセグメント利益(経常利益)は5百万円(前期はセグメント損失(経常損失)24百万円)と黒字化いたしました。

#### ③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は30百万円(前期比1.5%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しております。

#### ④その他

駐輪設備におきましては、受注元の日鉄日新ビジネスサービス株式会社から駐輪部門の事業譲受を2021年3月1日に行う準備等の影響で、2020年10月から2021年2月迄の売上高が1百万円と減少したため、売上高は35百万円(前期比38.1%減)に留まりました。その影響でセグメント損失(経常損失)は7百万円(前期はセグメント利益(経常利益)0百万円)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (イ)資産

当事業年度末における総資産は、前期末比378百万円減少し8,460百万円となりました。

流動資産は未収還付法人税等が32百万円、棚卸資産が8百万円、その他のうち未収消費税等が61百万円及び未収入金が11百万円増加し、現金及び預金が159百万円、受取手形が123百万円、売掛金が160百万円、電子記録債権が182百万円、その他のうち立替金が45百万円減少したこと等により555百万円減少し2,830百万円となりました。

固定資産は機械及び装置が23百万円、工具、器具及び備品が222百万円、リース資産が31百万円増加し、建物が52百万円、建設仮勘定が134百万円減少したこと等により有形固定資産が83百万円増加し4,793百万円となり、また、投資有価証券が92百万円増加したこと等から投資その他の資産は95百万円増加し830百万円となりました。その結果、固定資産全体では177百万円増加し5,629百万円となりました。

##### (ロ)負債

流動負債は1年内返済予定の長期借入金が43百万円、リース債務が18百万円増加し、買掛金が100百万円、未払金が208百万円、未払法人税等が26百万円、未払消費税等が94百万円、預り金が72百万円、賞与引当金が30百万円、設

備関係支払手形が46百万円減少したこと等から527百万円減少し2,802百万円となりました。

固定負債は長期借入金が222百万円、リース債務が25百万円、繰延税金負債が21百万円増加し、退職給付引当金が18百万円減少したこと等から248百万円増加し3,016百万円となりました。

(ハ)純資産

純資産はその他有価証券評価差額金が49百万円増加し、利益剰余金が148百万円減少したことから99百万円減少し2,641百万円となりました。これにより自己資本比率は31.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ145百万円減少し、1,342百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(イ)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、191百万円(前事業年度は786百万円)となりました。収入の主な内訳としては、減価償却費が383百万円、売上債権の減少額が467百万円であり、支出の主な内訳としては、税引前当期純損失が142百万円、退職給付引当金の減少額が18百万円、賞与引当金の減少額が30百万円、仕入債務の減少額が213百万円、未収消費税等の増加額が59百万円、未払消費税等の減少額が94百万円であります。

(ロ)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は420百万円(前事業年度は114百万円)となりました。収入の主な内訳としては、定期預金の払戻による収入が18百万円、貸付金の回収による収入が5百万円であり、支出の主な内訳としては、投資有価証券取得に16百万円、生産設備他の有形固定資産取得に389百万円、駐輪の事業譲受による支出が24百万円であります。

(ハ)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により得られた資金は83百万円(前事業年度は475百万円使用)となりました。借入による収入が1,201百万円に対し、長期借入金の返済935百万円、リース債務の返済157百万円、配当金の支払25百万円が主な支出であります。

なお、当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	35.6	32.5	31.3	31.0	31.2
時価ベースの自己資本比率	20.2	14.6	11.4	8.3	23.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	7.0	23.7	9.4	4.8	21.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	8.9	3.0	7.6	14.4	3.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

2022年3月期におきましては、自動車用部品部門における半導体供給不足に伴う受注減リスクを踏まえ、自動車用部品部門・自社製品部門共に、徹底した生産性の追求・主要経費の管理の実践を図ってまいります。また今期より、自社製品部門のセグメントに2021年3月1日に事業譲受した駐輪事業を加え、従来の駐輪ラック等の製造下請から、今後は駐輪機器の企画開発から製造、販売・設置まで社内で一貫して担う体制を早期に定着させ、より収益性の高いビジネスモデルとなるよう取組んでまいります。

半導体供給不足による影響は特に上半期に集中する見通しのため、現時点での2022年3月期の業績は、第2四半期累計期間では、売上高1,890百万円、営業損失190百万円、経常損失170百万円、四半期純損失170百万円を見込んでおります。

一方通期では半導体需給の一部改善に加え、アニールレス技術を活用したTier1受注部品等の量産も複数開始予定であり、売上高4,630百万円、営業利益40百万円、経常利益55百万円、当期純利益45百万円を見込んでおります。

なお、次期の業績予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は大きく異なる可能性があります。

※ 当社は、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等が適用となるため、上記業績予想は当該基準に基づいた金額であります。当該基準の適用により、売上高は適用前より減少となりますが、営業損益、経常損益、当期純損益には大きな影響はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は日本国内に限定されており、海外での事業活動ならびに財務活動が無く、また非連結のため子会社も有していないことから、会計基準につきましては日本基準を適用しておりますが、今後の国内他社のIFRSの適用動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,501,258	1,342,011
受取手形	223,484	100,382
電子記録債権	674,924	492,677
売掛金	591,090	430,718
製品	91,747	103,326
仕掛品	33,255	30,113
原材料及び貯蔵品	189,492	189,913
前払費用	14,849	15,868
前渡金	—	396
未収還付法人税等	—	32,856
その他	66,355	92,519
貸倒引当金	△620	△260
流動資産合計	3,385,839	2,830,524
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,586,620	1,533,646
構築物(純額)	57,603	49,963
機械及び装置(純額)	439,504	463,042
車両運搬具(純額)	6,883	7,482
工具、器具及び備品(純額)	124,621	347,139
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	638,784	670,663
建設仮勘定	198,590	64,163
有形固定資産合計	4,710,479	4,793,969
無形固定資産		
ソフトウェア	1,194	1,051
リース資産	5,640	4,200
無形固定資産合計	6,834	5,251
投資その他の資産		
投資有価証券	654,131	746,244
出資金	10,530	10,520
従業員に対する長期貸付金	6,435	5,301
長期前払費用	28,967	21,170
破産更生債権等	4,034	2,730
投資不動産	1,310	155
その他	34,132	47,357
貸倒引当金	△4,030	△2,730
投資その他の資産合計	735,510	830,750
固定資産合計	5,452,825	5,629,971
資産合計	8,838,664	8,460,496

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	41,823	32,509
買掛金	312,841	212,331
短期借入金	690,000	690,000
1年内返済予定の長期借入金	836,641	879,942
リース債務	142,069	160,978
未払金	901,831	693,078
未払費用	10,259	9,600
未払法人税等	28,401	2,132
未払消費税等	94,060	—
前受収益	—	666
預り金	76,765	3,934
役員及び従業員に対する短期債務	69,814	68,782
賞与引当金	65,000	35,000
設備関係支払手形	59,807	13,231
流動負債合計	3,329,317	2,802,186
固定負債		
長期借入金	1,610,221	1,832,974
リース債務	492,084	517,115
繰延税金負債	91,880	113,419
再評価に係る繰延税金負債	427,256	427,256
長期前受金	14,613	12,177
退職給付引当金	76,656	57,743
資産除去債務	50,573	50,655
その他	4,600	5,313
固定負債合計	2,767,885	3,016,655
負債合計	6,097,203	5,818,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金		
資本準備金	211,245	211,245
資本剰余金合計	211,245	211,245
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	720,951	572,046
利益剰余金合計	720,951	572,046
自己株式	△31,722	△31,746
株主資本合計	1,558,713	1,409,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	209,163	258,285
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,182,746	1,231,868
純資産合計	2,741,460	2,641,654
負債純資産合計	8,838,664	8,460,496

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	6,444,800	4,748,062
売上原価		
製品期首たな卸高	93,867	91,747
当期製品製造原価	5,751,130	4,547,279
合計	5,844,997	4,639,026
製品期末たな卸高	91,748	103,326
売上原価合計	5,753,249	4,535,700
売上総利益	691,551	212,361
販売費及び一般管理費		
販売費	334,953	273,749
一般管理費	232,270	199,622
販売費及び一般管理費合計	567,223	473,372
営業利益又は営業損失(△)	124,327	△261,010
営業外収益		
受取利息	255	168
受取配当金	38,462	19,172
受取賃貸料	44,091	43,879
助成金収入	1,365	111,503
その他	3,563	8,709
営業外収益合計	87,738	183,432
営業外費用		
支払利息	52,729	51,706
賃貸費用	11,625	11,387
その他	592	1
営業外費用合計	64,947	63,095
経常利益又は経常損失(△)	147,118	△140,673
特別利益		
固定資産売却益	16	1,809
特別利益合計	16	1,809
特別損失		
固定資産除却損	6,502	2,113
事業撤退損	2,611	—
減損損失	—	1,154
特別損失合計	9,114	3,267
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	138,021	△142,132
法人税、住民税及び事業税	25,454	578
法人税等還付税額	—	△19,515
法人税等調整額	△9	△17
法人税等合計	25,445	△18,954
当期純利益又は当期純損失(△)	112,576	△123,177

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費		3,215,584	55.9	2,338,129	51.5
II 労務費		866,154	15.1	795,287	17.5
III 経費		1,672,945	29.1	1,417,159	31.2
(この内外注加工費)		(427,789)	(7.4)	(290,188)	(6.4)
(この内減価償却費)		(390,312)	(6.8)	(375,033)	(8.3)
IV 作業屑等雑収入控除		5,041	0.1	6,439	0.1
V 外注工場仕損弁償金取立高		13	0.0	0	0.0
当期製造費用		5,749,629	100.0	4,544,137	100.0
仕掛品期首棚卸高		34,859		33,255	
合計		5,784,488		4,577,392	
仕掛品期末棚卸高		33,255		30,113	
他勘定振替高		102		—	
当期製品製造原価		5,751,130		4,547,279	

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	658,240	211,245	211,245	621,238	621,238
当期変動額					
剰余金の配当				△12,863	△12,863
当期純利益				112,576	112,576
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	—	99,712	99,712
当期末残高	658,240	211,245	211,245	720,951	720,951

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△31,722	1,459,001	300,517	973,583	1,274,101	2,733,102
当期変動額						
剰余金の配当		△12,863				△12,863
当期純利益		112,576				112,576
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△91,354	—	△91,354	△91,354
当期変動額合計	—	99,712	△91,354	—	△91,354	8,358
当期末残高	△31,722	1,558,713	209,163	973,583	1,182,746	2,741,460

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	658,240	211,245	211,245	720,951	720,951
当期変動額					
剰余金の配当				△25,726	△25,726
当期純損失(△)				△123,177	△123,177
自己株式の取得					
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	—	△148,904	△148,904
当期末残高	658,240	211,245	211,245	572,046	572,046

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△31,722	1,558,713	209,163	973,583	1,182,746	2,741,460
当期変動額						
剰余金の配当		△25,726				△25,726
当期純損失(△)		△123,177				△123,177
自己株式の取得	△24	△24				△24
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			49,122	—	49,122	49,122
当期変動額合計	△24	△148,928	49,122	—	49,122	△99,806
当期末残高	△31,746	1,409,785	258,285	973,583	1,231,868	2,641,654

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	138,021	△142,132
減価償却費	399,675	383,834
減損損失	-	1,154
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,080	△1,660
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,453	△18,913
賞与引当金の増減額(△は減少)	40,000	△30,000
受取利息及び受取配当金	△38,717	△19,341
支払利息	52,729	51,706
助成金収入	△1,365	△111,503
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,485	303
売上債権の増減額(△は増加)	△37,514	467,090
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,196	4,313
仕入債務の増減額(△は減少)	83,862	△213,906
事業撤退損	2,611	-
未収消費税等の増減額(△は増加)	-	△59,490
未払消費税等の増減額(△は減少)	81,619	△94,060
長期未払金の増減額(△は減少)	△3,000	-
預り保証金の増減額(△は減少)	△5,400	△3,000
その他	75,281	△59,886
小計	804,951	154,509
利息及び配当金の受取額	38,717	18,449
利息の支払額	△54,810	△52,011
助成金の受取額	1,365	101,114
法人税等の支払額	△3,944	△30,171
法人税等の還付額	346	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	786,626	191,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,000	△6,000
定期預金の払戻による収入	-	18,000
投資有価証券の取得による支出	△29,156	△16,433
有形固定資産の取得による支出	△74,441	△389,321
有形固定資産の売却による収入	50	1,998
無形固定資産の取得による支出	-	△417
資産除去債務の履行による支出	△57	-
事業譲受による支出	-	△24,058
貸付けによる支出	△5,078	△3,050
貸付金の回収による収入	7,467	5,389
保険積立金の積立による支出	△7,190	△4,839
差入保証金の差入による支出	-	△2,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,405	△420,818
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△90,000	-
長期借入れによる収入	751,747	1,201,513
長期借入金の返済による支出	△977,344	△935,460
リース債務の返済による支出	△146,798	△157,417
自己株式の取得による支出	-	△24
配当金の支払額	△13,052	△25,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	△475,448	83,182

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	196,772	△145,747
現金及び現金同等物の期首残高	1,290,986	1,487,758
現金及び現金同等物の期末残高	1,487,758	1,342,011

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取り扱う製品による事業部門として、自動車用部品を受注している「自動車用部品」、自社ブランドを主とした電子機器製品を販売している「自社製品」と、収益に重要な影響を与える「賃貸不動産」を加えた3部門を報告セグメントとしております(照明機器製品については2020年3月末をもって事業撤退)。

「自動車用部品」は主に、バンパー、スポイラー等の外装部品、ハンドブレーキレバーシステムの製造販売をしております。「自社製品」は主に、情報通信機ラック、汎用電子機器ケース、シャーシの製造販売をしております。「賃貸不動産」は、店舗等を賃貸しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	財務諸表計上額
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,989,497	397,480	—	6,386,978	57,822	6,444,800	—	6,444,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,989,497	397,480	—	6,386,978	57,822	6,444,800	—	6,444,800
セグメント利益又は損失(△)	117,314	△943	30,505	146,877	241	147,118	—	147,118
セグメント資産	6,294,584	284,333	499,698	7,078,615	39,662	7,118,277	1,720,386	8,838,664
その他の項目								
減価償却費	391,782	2,344	5,360	399,487	187	399,675	—	399,675
受取利息	236	15	—	252	2	255	—	255
支払利息	48,154	2,428	1,747	52,330	398	52,729	—	52,729
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	324,776	—	—	324,776	—	324,776	773	325,549

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)には、適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐輪事業を含んでおります。

4. 調整額の内容は、各報告セグメントに属さない全社管理の資産であり、現金及び預金、建物の一部、投資有価証券等であります。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	財務諸表計上額
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,415,740	296,544	—	4,712,285	35,776	4,748,062	—	4,748,062
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,415,740	296,544	—	4,712,285	35,776	4,748,062	—	4,748,062
セグメント利益又は損失(△)	△169,370	5,262	30,977	△133,131	△7,542	△140,673	—	△140,673
セグメント資産	5,942,253	260,939	494,215	6,697,408	52,399	6,749,807	1,710,688	8,460,496
その他の項目								
減価償却費	370,901	7,296	5,305	383,504	329	383,834	—	383,834
受取利息	154	13	—	167	1	168	—	168
支払利息	46,870	2,897	1,513	51,281	425	51,706	—	51,706
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	398,665	50,388	—	449,053	2,242	451,296	16,506	467,803

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)には、適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐輪事業を含んでおります。

4. 調整額の内容は、各報告セグメントに属さない全社管理の資産であり、現金及び預金、建物の一部、投資有価証券等であります。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	3,201,309	自動車用部品
株式会社千代田製作所	1,097,419	自動車用部品
河西工業株式会社	714,801	自動車用部品

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SUBARU	2,419,255	自動車用部品
株式会社千代田製作所	749,203	自動車用部品
河西工業株式会社	527,867	自動車用部品

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	自動車用 部品	自社製品	賃貸不動産	計			
減損損失	—	—	—	—	—	1,154	1,154

(注) 「全社・消去」の金額は、投資不動産であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,065円62銭	1,026円85銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	43円76銭	△47円88銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	112,576	△123,177
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△)(千円)	112,576	△123,177
普通株式の期中平均株式数(株)	2,572,655	2,572,618

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,741,460	2,641,654
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,741,460	2,641,654
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,572,655	2,572,590

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

自動車部品は、上期の新型コロナウイルス感染症の影響や、第4四半期の半導体供給不足による受注減少により、生産高が4,420百万円(前年同期比26.1%減)、受注高が4,583百万円(前年同期比17.7%減)、売上高が4,415百万円(前年同期比26.3%減)となっております。

## (2) 役員の異動

## ① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

## ② その他の役員の異動

新任取締役候補

田口 英美 (現 執行役員総務部長)

笹生 光弘 (現 執行役員LB事業部長)

## ③ 就任予定日

2021年6月29日